

社会福祉法人 藤山保育園

防災チャレンジプラン
最終報告書



藤山保育園防災活動

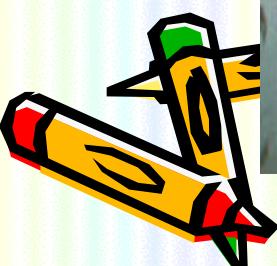
子どもたちを取り巻く現状

- 近年、子どもを狙う凶悪な事件が増加してきています。
- 子どもたちを取り巻く環境はけっして良いといえない状態です。
- どうすれば・どうしていけば良いのでしょうか？



◆ 事件例

- ・連続幼女誘拐殺人事件
- ・神戸児童殺傷事件
- ・下関通り魔殺人事件
- ・池田小学校児童殺傷事件
- ・愛知・乳児殺傷事
- ・長崎幼児誘拐殺人事件
- ・小1児童殺害事件
- ・加古川女兒殺傷事件



今までの防犯対策・活動

(藤山保育園及び地域)

○年12回の避難訓練のうち3回
程度(不審者)

○不審者対策の研修(警棒やさ
すまたの使い方)

○地域の防災訓練参加

○防犯ベルを運動会の参加賞と
して配布



これからの防犯対策・活動

(藤山保育園及び地域)

○地域が一丸となり防犯対策にのりだす。

(防犯マップの活用、地域防犯協会、警察などと連携)

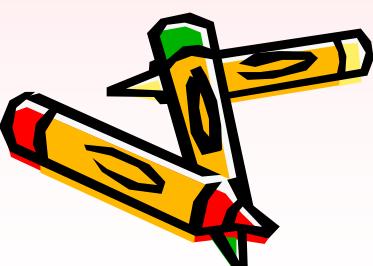
○保護者一人一人の意識を高める。

・昔と違い犯罪の多発、無差別に子どもを狙う恐怖。

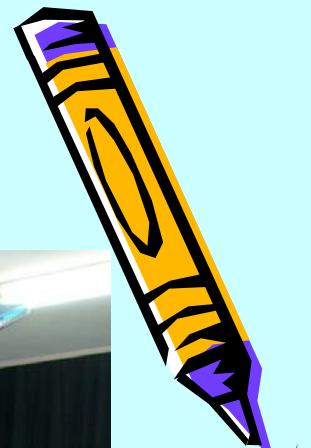
・自宅付近でも決して安全ではない現状の把握。

・自分の身を守る方法をみにつける。

○子育て支援と連動して劇、講演会による啓発活動の実施等。



国崎信江先生による講演会



藤山保育園防犯訓練

- ・ALSOKとの連携訓練
- ・緊急時の体制と対処法の改善
- ・防御機材の操作方法と護身術
- ・対処の3原則



- ・現在の状況の把握
- ・様々な問題点の整理
- ・対処法

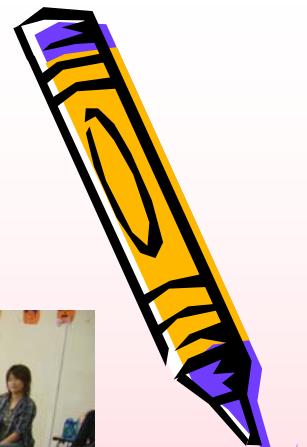
自分の身は自分で守る

◎子どもにどうやって教えていくか？

・遊びの中で学ぶ
ハンカチ落としや達磨さんがころんだ

・ノウハウを学ぶ
タッチ＆ゴー、腕はずし。

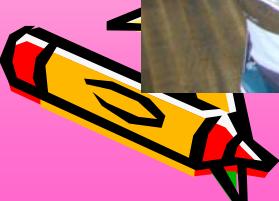
・対処、考え方を学ぶ
あかずきんとしろずきんの劇



注意の仕方を学ぶ



- 1人で歩く時の注意。(狙われるほとんどが1人になってから)
- 不審者の見分け方。(外見だけでは判断できない?)
- もし狙われてしまってからの対処。
◎(気配を敏感に察知) ◎(早い対処) ◎(逃げる勇気)



これからの課題

- 地域全体での取り組み。
- 保護者の啓発活動の拡大
- 子どもを守るための方法
- 職員のスキルアップ
- 劇の中での問題点、課題をまとめより効果があるようにする。

